

な心  
妻や子に對する心  
或町場に近い温泉  
を仕  
実親はそこで三日  
に讀者をあげて強

# 跡

徳田秋聲

の處...で色...に...がり

や長火鉢や膳梳のやう  
へて、それを不殘交  
舞込んだ。  
吾柄は東京にや流行ら  
着屋へ賣つちよはさへ  
さへすれア衆に好い  
で心配はない。」  
い母親が、奥の納戸で  
綿の着物を引張つた  
と、前後の者のない

替へて、それ  
に舞込んだ。

田舎柄は東京にや流行ら  
と坐つて、しや夏れたやう  
庄は漸と十一か二であつた。



企画展

# 足跡

あしあと

書き尽くされた妻の生涯

令和4年11月12日(土) —  
— 令和5年3月12日(日)

(火曜定休(祝日の場合は翌平日)、12月29日(木)~1月3日(火)休館)

画像：自宅書斎における秋聲の妻はま(徳田家蔵)  
特別協力：矢島良幸、千野頼仁、西福寺、小沢家、徳田家(順不同、敬称略)

Tokuda Shusei Kinenkan Museum  
徳田秋聲記念館

〒920-0831 石川県金沢市東山1丁目19番1号 TEL.076-251-4300・FAX.076-251-4301

開館時間 9時30分~17時(入館は16時30分まで)

観覧料金 一般 310円・65歳以上 210円・高校生以下無料・団体(20名以上)260円

<https://www.kanazawa-museum.jp/shusei/>

